



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL http://www.asahi-intecc.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田昌彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊藤瑞穂 (TEL) (052) 768-1211
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	20,403	2.3	5,884	3.4	6,187	8.3	4,245	4.2
28年6月期第2四半期	19,949	17.6	5,689	37.2	5,712	25.7	4,073	32.5

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期5,972百万円(79.9%) 28年6月期第2四半期 3,319百万円(△36.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	67.01	66.47
28年6月期第2四半期	64.42	63.80

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	53,447	36,763	68.8
28年6月期	50,286	32,263	64.1

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 36,753百万円 28年6月期 32,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年6月期	—	0.00			
29年6月期(予想)			—	27.40	27.40

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,005	1.2	10,053	0.5	9,996	5.0	6,928	0.3	109.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期2Q	64,389,400株	28年6月期	64,148,800株
29年6月期2Q	911,890株	28年6月期	911,890株
29年6月期2Q	63,351,757株	28年6月期2Q	63,229,154株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 地域ごとの情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第2四半期連結累計期間では、日本市場にて、当社の事業領域として新たな分野である胆管・膵管・消化管分野の内視鏡ガイドワイヤー「M-ThroughTM」(エムスルー)を販売開始いたしました。また海外市場では、日本市場で既に販売し高い評価を得ております循環器系領域の貫通カテーテル「Caravel(カラベル)」やPTCAガイドワイヤー「Hyperion(ハイペリオン)」について欧州市場での販売を開始し、中国市場では循環器系領域の製品について複数代理店に販売する方式に販売戦略を変更いたしました。また、当社グループの金型・射出成形などの精密加工技術の開発の中心拠点として、平成30年7月頃を目処に、新たに「東北R&Dセンター」を設立することを決定いたしました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、為替動向及び医療償還価格の下落などの外部要因影響があるものの、メディカル事業の海外売上高を中心に引き続き需要が堅調に推移し、204億3百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

売上総利益は、好調な受注と生産性の向上などに伴い売上総利益率が上昇し、136億45百万円(同5.0%増)となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、58億84百万円(同3.4%増)となりました。

経常利益は、為替差益の増加や、固定資産売却益の減少から、61億87百万円(同8.3%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損を計上したものの、42億45百万円(同4.2%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

- 1 米ドル=105.76円(前年同期121.59円、比13.0%減)
- 1 タイバーツ=3.01円(前年同期3.39円、比11.2%減)
- 1 ユーロ=115.98円(前年同期134.42円、比13.7%減)
- 1 中国元=15.65円(前年同期19.03円、比17.8%減)

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業は、為替動向及び医療償還価格の下落の外部要因影響があるものの、国内・海外市場ともに需要は堅調であり、順調に推移いたしました。

国内市場においては、平成28年4月の医療償還価格の引下げによる影響を受けたものの、循環器系領域の貫通カテーテルが、新製品「SASUKE(サスケ)」を中心に大きく伸張し、増加いたしました。

海外市場においては、為替影響を受けたものの、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル、及び末梢血管系領域のペリフェラルガイドワイヤーの売上数量が増加傾向にあり、売上高は増加いたしました。なお、中国市場の循環器系製品は、平成28年7月より複数代理店に販売する方式に販売戦略を変更したことから、受注数量が大幅に増加し、順調に推移しております。

以上の結果、売上高は162億12百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費及び営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加と売上総利益率の上昇などにより、55億44百万円(同3.9%増)となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、医療部材及び産業部材の売上高が共に減少いたしました。

医療部材については、海外市場において、米国向けの末梢血管系治療用カテーテル部材の供給などが増加したものの、為替影響を受け、売上高は減少いたしました。

産業部材につきましては、国内の家電関係の取引が増加したものの、米国向けレジャー取引の減少や為替影響を受け、売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は41億90百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

また、セグメント利益は、セグメント間取引の増加や売上総利益率の上昇などにより、12億80百万円（同4.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が534億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億61百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が8億99百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が9億47百万円、仕掛品が3億22百万円、その他流動資産が6億83百万円及び有形固定資産が20億48百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が166億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億38百万円減少しております。主な要因は、短期借入金が17億76百万円増加した一方、長期借入金が29億66百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が367億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億99百万円増加しております。主な要因は、資本金が2億17百万円、資本剰余金が2億17百万円、利益剰余金が23億48百万円及び為替換算調整勘定が16億39百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状態)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、120億36百万円(前年同期比35.0%増)となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動により得られた資金は、36億8百万円(前年同期比3億5百万円減)となりました。これは主に、売上債権が7億47百万円増加、仕入債務が4億44百万円減少、未払金が3億38百万円減少、役員退職慰労引当金が637百万円減少したことに加え、法人税等の支払額が12億62百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益が60億36百万円、減価償却費が12億19百万円であったことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、20億18百万円(前年同期比1億78百万円増)となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入が6億12百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が21億84百万円、投資有価証券の取得による支出が3億5百万円であったことによるものであります。

財務活動により使用した資金は、27億73百万円(前年同期比36億1百万円減)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入が4億24百万円あったものの、配当金の支払額が18億96百万円、長期借入金の返済による支出が12億97百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想に比べて大変好調に推移いたしました。第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の見通しにつきましては、当第2四半期連結会計期間で未発生費用が今後発生することが見込まれること、為替動向が不透明であることなどから、修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,935,673	12,036,042
受取手形及び売掛金	6,946,888	7,894,047
電子記録債権	392,200	591,886
商品及び製品	2,594,989	2,615,178
仕掛品	2,833,207	3,155,900
原材料及び貯蔵品	2,866,561	2,983,073
その他	1,796,777	2,479,798
貸倒引当金	△14,305	△16,246
流動資産合計	30,351,993	31,739,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,041,567	6,430,681
その他(純額)	9,864,612	11,523,694
有形固定資産合計	15,906,179	17,954,375
無形固定資産		
投資その他の資産	3,423,290	3,149,729
固定資産合計	19,934,562	21,708,012
資産合計	50,286,556	53,447,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,387,105	1,190,129
電子記録債務	299,204	336,538
短期借入金	3,092,121	4,869,035
未払法人税等	1,011,514	1,244,245
賞与引当金	417,905	236,869
その他	3,169,601	2,779,048
流動負債合計	9,377,451	10,655,866
固定負債		
長期借入金	6,361,095	3,394,431
役員退職慰労引当金	662,253	24,908
退職給付に係る負債	765,587	793,490
その他	856,495	1,815,618
固定負債合計	8,645,430	6,028,448
負債合計	18,022,882	16,684,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,370,040	4,587,040
資本剰余金	6,109,376	6,326,376
利益剰余金	24,498,164	26,846,290
自己株式	△3,006,382	△3,006,382
株主資本合計	31,971,199	34,753,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	660,036	737,310
為替換算調整勘定	△302,526	1,336,957
退職給付に係る調整累計額	△84,915	△73,971
その他の包括利益累計額合計	272,594	2,000,295
新株予約権	19,880	9,757
純資産合計	32,263,674	36,763,378
負債純資産合計	50,286,556	53,447,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	19,949,914	20,403,045
売上原価	6,955,479	6,757,811
売上総利益	12,994,435	13,645,233
販売費及び一般管理費	7,304,673	7,760,761
営業利益	5,689,762	5,884,472
営業外収益		
受取利息	2,635	5,430
受取配当金	10,332	11,553
為替差益	-	315,903
その他	155,966	36,396
営業外収益合計	168,934	369,284
営業外費用		
支払利息	16,332	19,047
保険解約損	-	21,438
為替差損	114,846	-
その他	14,631	25,817
営業外費用合計	145,809	66,302
経常利益	5,712,886	6,187,454
特別利益		
新株予約権戻入益	91	691
特別利益合計	91	691
特別損失		
投資有価証券評価損	700	147,252
その他	6,904	4,120
特別損失合計	7,604	151,372
税金等調整前四半期純利益	5,705,372	6,036,772
法人税、住民税及び事業税	1,506,692	1,443,135
法人税等調整額	125,222	348,404
法人税等合計	1,631,915	1,791,540
四半期純利益	4,073,457	4,245,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,073,457	4,245,232

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,073,457	4,245,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,531	77,274
為替換算調整勘定	△765,850	1,639,483
退職給付に係る調整額	5,215	10,943
その他の包括利益合計	△754,102	1,727,701
四半期包括利益	3,319,354	5,972,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,319,354	5,972,933

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,705,372	6,036,772
減価償却費	1,129,362	1,219,735
賞与引当金の増減額(△は減少)	△166,725	△193,182
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△637,344
支払利息	16,332	19,047
売上債権の増減額(△は増加)	△834,902	△747,163
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,612	108,477
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,584	△444,187
未払金の増減額(△は減少)	△212,129	△338,826
未収入金の増減額(△は増加)	△72,702	△126,613
その他	243,461	△47,793
小計	5,775,871	4,848,921
利息及び配当金の受取額	13,009	35,901
利息の支払額	△15,573	△13,560
法人税等の支払額	△1,859,496	△1,262,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,913,810	3,608,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,620,893	△2,184,155
有形固定資産の売却による収入	259,083	39,310
無形固定資産の取得による支出	△51,159	△149,313
投資有価証券の取得による支出	△812	△305,422
長期前払費用の取得による支出	△410,866	△6,145
保険積立金の払戻による収入	-	612,286
その他	△15,295	△25,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,839,943	△2,018,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△744,416	-
長期借入金の返済による支出	△1,166,294	△1,297,032
配当金の支払額	△1,458,096	△1,896,524
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,188	424,518
自己株式の取得による支出	△3,005,516	-
その他	△5,393	△4,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,375,527	△2,773,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,610	284,052
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,429,270	△899,630
現金及び現金同等物の期首残高	13,344,553	12,935,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,915,283	12,036,042

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,631,417	4,318,497	19,949,914	—	19,949,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,396	1,023,874	1,040,270	△1,040,270	—
計	15,647,813	5,342,371	20,990,185	△1,040,270	19,949,914
セグメント利益	5,334,363	1,222,742	6,557,106	△867,344	5,689,762

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,212,576	4,190,469	20,403,045	—	20,403,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,421	1,063,597	1,102,018	△1,102,018	—
計	16,250,997	5,254,066	21,505,064	△1,102,018	20,403,045
セグメント利益	5,544,963	1,280,718	6,825,681	△941,208	5,884,472

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	米国	欧州・中近東	その他	合計
8,841,340	3,995,951	4,091,855	3,054,925	418,973	20,403,045